

施策 1-2-2 新たな手法による効率的な道路等の維持管理

(1) 住民意識調査結果

関連項目	満足度	順位	優先度	順位
効率的な道路の維持管理	-5.0%	23位/全36項目中	39.6%	30位/全36項目中

(2) 地域経営計画書（後期計画）指標

指標	基準値	目標値
道普請事業整備延長	平成21年度 9,200m	平成27年度 15,300m
<p><前期5カ年計画の検証を踏まえた施策展開></p> <p>○道路評価の優先順位により、行政による整備が困難となってしまう路線を整備するための新たな手法として、地域の方々が自ら労力を出し合い、砂利道をコンクリート舗装にする道普請事業を、平成16年度から推進し、着実に実績を上げてきました。道普請事業は、道路の維持管理のみならず、施工コストの縮減、地域内道路への愛着、地域の連帯感の向上など、さまざまな面において成果を上げています。よって、後期計画においても、限られた道路行政予算の中で、整備路線の調整を行いつつ、事業を推進していきます。</p> <p><指標に関する特記事項></p> <p>○道普請事業は、各年度の地域要望をもとに実施する事業であることから、要望の状況により、整備延長が一定しないことも予想されますが、地域の取り組み機運や財政状況を踏まえながら整備路線を調整し、事業推進に努めます。</p>		

(3) 施策を達成するための主な事務事業

事務事業名						
	取組概要	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
○道普請事業						
	<ul style="list-style-type: none"> 舗装に必要な材料及び必要な重機等の借り上げ料を町が提供し、地域の方々が、砂利道をコンクリート舗装にします。（申請によるもの） 					